



Regional Innovation Research Center

Graduate School of Economics and Management
Tohoku University
2011

東北地域のイノベーション能力の向上と 産業振興・経済発展を目指して

地域イノベーション研究センター（以下、センター）は、
経済学研究科内外の知的能力を組織的に結集して教育研究活動を行うことによって、
東北地域のイノベーション能力の向上を図り、
東北地域の産業振興と経済発展に貢献するために必要な諸事業の企画、
実施および調整を行うことを目的とします。
また、センターは本学および地域の企業、自治体、NPO 等の
実務家たちと交流する場を提供することによって、
東北地域の現実について強い関心と理解をもち
地域発展への貢献意欲と能力をもつ人材を育成します。

東北地域の
イノベーション能力の向上

地域の調査研究

地域
イノベーション
研究センター

地域の情報交流

中長期活動計画

2010年度から始まった東北大学および経済学研究科の第2期中期目標・中期計画の中で、センターは2つの重点的に推定し、それぞれの年次計画を提示しました。これらの課題を高い水準で達成していくための基本構想と行動計画づくりに

重点課題 1

東北大学産学連携推進本部と提携して、地域イノベーション研究センターを地域産学連携の拠点として位置付け、地域のイノベーション創出に向けた社会との連携や貢献を強化する。

2010年度	本学の地域連携総括および地域の諸機関と連携して、地域イノベーション研究センターを中心とした本学の地域産学官連携体制を構築するための枠組みを開発する。併せて、地域イノベーション研究センターの片平への移転・拡充を推進する。
2011年度	地域イノベーション研究センター内にイノベーション創出支援部（仮称）を創設し、地域産学官連携による推進事業および具体的な支援プログラムを開発する。
2012年度	本学の諸部局および地域と連携して、本学の優れた研究教育資源および技術シーズを活用する変革力の大きい地域イノベーション創出プロジェクトを選定し、その行動計画と実施体制を整備する。
2013年度	地域イノベーション創出プロジェクトを実施する。

重点課題 2

地域イノベーション研究センター・エクステンション・スクールを開設する。

2010年度	地域イノベーションを担う優れた地域人材を育成する「地域イノベーション・スクール」の基本コンセプトを設定し、教養に取り組む。
2011年度	教育コンテンツの開発を継続するとともに、一部のものを試行的に実施し、その妥当性を検証する。
2012年度	複数のコース・プログラムを完成させるとともに、エスクールの開設に向けて運営体制を整備し、広報活動に取り組む。
2013年度	エクステンション・スクールを開設し、地域イノベーション指導的人材の育成に取り組む。



センター長

藤本 雅彦 経済学研究科教授

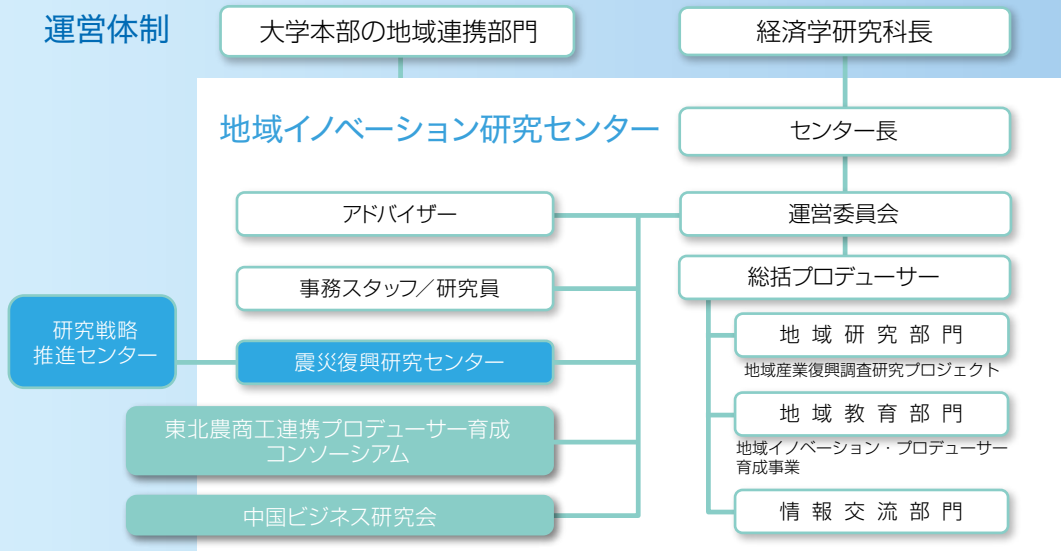
東日本大震災による甚大なダメージを乗り越えて、いかに東北地域の活力を復興させ、持続可能な成長を図っていくのかが大きな課題となっております。地域イノベーション研究センターの使命は、こうした東北地域の課題に応え、イノベーションの実現を通して地域力の持続的向上を推進していくことにあります。地域イノベーションは大学だけの力では実現できません。東北地域に関わりをもつ企業、政府、自治体、非営利組織、それに他の大学や研究教育機関が、地域イノベーションの実現に向けて共通の目的を設定し、互いの個性を生かしつつ協力し合うことが不可欠です。当センターは、これまでの成果と経験を基盤として、東北地域活性化のプロデューサーとしての役割を果たしていきたいと考えております。

地域イノベーション研究センター

Regional Innovation Research Center

- 事業内容**
- 地域イノベーションに関する研究の推進
 - 地域イノベーションに関する教育の推進
 - 地域イノベーションを牽引する指導者の人材(地域プロデューサー)の育成
 - 地域イノベーションに関する情報交流の推進
 - 委託研究、寄附講座、共同研究の受入

運営体制



実施プログラム

- | | |
|-------------|---|
| ● 地域研究プログラム | 共同研究プロジェクト、シンポジウム等の開催、地域中小企業景況調査 等 |
| ● 地域教育プログラム | 公開講座、みやぎ県民大学開放講座 等 |
| ● 特別プログラム | 農商工連携プロデューサー育成事業、中国ビジネス研究会 等 |
| ● 情報交流プログラム | ホームページによる交流、学会発表・広報イベント等への出展、連携事業・委託事業寄附金等の受入 等 |

共同研究プロジェクトの実施

● 地域におけるリーダー人材育成の実態と今後のあり方に関する調査研究

センターと(財)東北活性化研究センターは、2010年8月より共同研究プロジェクトを結成し、東北地域および東京・大阪・名古屋などの大都市圏を除く全国の地域におけるリーダー人材育成の実態を明らかにし、地域ぐるみのリーダー人材育成の要件および課題を究明するため、①新潟を含む東北7県における地元企業の人材育成ニーズに関するアンケート調査、②東北7県におけるリーダー人材育成支援機関の実態調査(電話および訪問インタビュー調査)、③大都市を除く全国各地域におけるリーダー人材育成支援機関の実態調査(訪問インタビュー調査)の3つの調査を実施しました。

シンポジウム等の開催

● 2010年度地域イノベーション・シンポジウム—このままでいいのか？東北における人材育成—

共同研究プロジェクト「地域における人材育成の実態と課題」の調査報告を行うとともに、地域で積極的に人材育成に取り組んでいる方をお招きし、これからの地域における人材育成のあるべき姿についてのシンポジウムを開催しました。



日 時: 2011年2月10日(木) 13:30~17:30

会 場: 仙台国際センター 萩

主 催: 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター
財団法人東北活性化研究センター

共 催: 財団法人経和会記念財団

地域の中小企業経営および経済・産業に関するシンポジウムとフォーラムを開催することによって、地域の重要課題を焦点化し、課題解決に向けての議論と学習の場を提供しています。



これまでの開催実績

- センター設立記念国際シンポジウム — 2005.09 仙台国際センター
東北アジアの産業クラスター
- 第1回フォーラム — 2006.03 ホテル仙台プラザ
若者に選ばれる地域企業の条件: 地域企業の人材獲得と育成
- 第2回フォーラム — 2006.11 仙台市戦災復興記念館
中小企業のイノベーションを起こす情報化への新たな挑戦
- 第2回シンポジウム — 2007.09 仙台国際センター
東北地域の経済産業の問題点を探る
- 第3回シンポジウム — 2008.03 仙台国際センター
地域ブランドの作り方
- 地域イノベーション・シンポジウム — 2008.10 仙台国際センター
ものづくりだけで生き残れるか? — 製造業のサービス化 —
- 第1回 農商工連携をリードする
経営人財育成セミナー — 2009.01 せんだいメディアテーク
地域企業・事業者が飛躍するために経営者は何をすべきか
- 第2回 農商工連携をリードする
経営人財育成セミナー — 2009.03 せんだいメディアテーク
自社と地域の利益モデルを構築する経営者をいかに育成するか
- 東北大学経済学部
創設60周年記念シンポジウム — 2010.02 東北大学川内萩ホール
デザイン発想からの新しい経営
- 農商工連携フォーラム — 2010.03 せんだいメディアテーク
持続的な農商工連携のために

地域中小企業景況調査

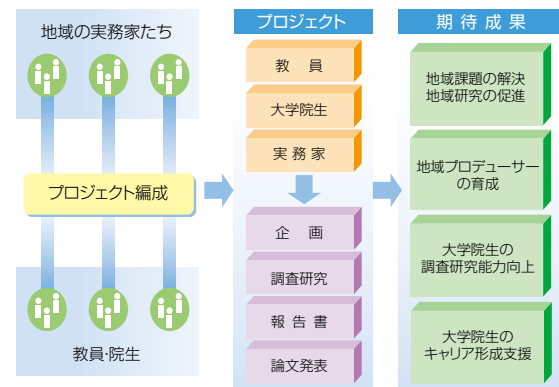
宮城県中小企業家同友会が会員企業を対象に行うアンケート調査に協力しています。年2回、会員企業の現在の経営状況および3ヶ月後の経営状況の予測について調査を行い、報告書を作成します。また、毎回の調査では、時期に合う特別テーマが設定され、地域中小企業の取り組みの現状と課題についても調査が行われます。

これまでの特別テーマ

- | | |
|---|--|
| ● 2005年 上半期 会社の経営で問題となっていること
下半期 会社の経営上の主要な取り組みの状況 | ● 2008年 上半期 原油・石油製品価格上昇の影響
下半期 昨今の経済情勢の自社への影響 |
| ● 2006年 上半期 経営者として向上させたい能力
下半期 障害者雇用 | ● 2009年 上半期 今後の景気回復の見通し
下半期 自社の雇用情勢 |
| ● 2007年 上半期 後継者問題
下半期 経営指針の作成および運営 | ● 2010年 上半期 資金繰り・資金調達
下半期 人材育成 |

プロジェクト型教育研究

プロジェクト型教育研究プログラムは、地域研究部門の重要事業として地域課題に関する研究を促進し、それを通じて特定の地域課題の解決に貢献することを目的として実施されました。特定の地域課題を中心にしたプロジェクトが編成され、本研究科の教員（プロジェクト・リーダー）と大学院生および地域の実務家たちが共同で調査研究を行い、課題解決に取り組みました。



これまでの実績

NPO人材マネジメント・プロジェクト（2007～2009年度） プロジェクト・リーダー：西出 優子准教授、高浦 康有准教授

1995年の阪神・淡路大震災を契機に、社会的使命の実現を目指して活動するNPOの役割が大きくなっています。NPOが活動を継続しサービスの質を担保するためには、ボランティアを含めた人材育成やリクルート等の人材マネジメントが求められます。本プロジェクトでは、東北地域のNPOを対象に、人材マネジメントの現状と課題に関する実態調査を行いました。これにより、NPOにおけるボランティアやスタッフのマネジメントおよびそれを支える社会や組織のあり方について具体的な方策を探り、課題解決に向けた提案を行いました。

宮城県食品産業振興プロジェクト（2008～2010年度） プロジェクト・リーダー：澁谷 寛教授

本プロジェクトは、宮城県食品工業協議会と共同で、宮城県の食品産業の特徴と問題点を抽出し、いくつかの問題点に対する解決策および新しい戦略的可能性を提示することを目的としました。既存の調査研究のレビューから、流通における付加価値、ブランド化、観光とのコラボレーションという3つの事項を選定し、問題解決および戦略的可能性の実現に向けての具体的な調査研究を行いました。

仙台印刷工業団地クラスター革新プロジェクト（2006～2008年度） プロジェクト・リーダー：大滝 精一教授

仙台印刷団地は印刷業界初の中小企業共同化事業体として1963年に発足して以来、様々な共同事業を行ってきました。しかし、最近IT社会の到来など印刷産業を取り巻く環境の激変に伴い、印刷団地も自発的にイノベーションを起こしていく必要性に迫られています。本プロジェクトでは、新しい印刷団地構想に向けてのビジネス・デザイン・センターの設立や新しいソリューション・ビジネス・モデルの創出などの対応策について調査研究を行いました。

仙台市のクリエイティブ・クラスター構想と共同で事例調査報告会を開催（2008.8 せんだいメディアテーク）



地域経営人材育成プロジェクト（2006～2008年度） プロジェクト・リーダー：藤本 雅彦教授

東北地域を代表する企業の経営者を対象として多くのヒアリング調査を行うことによって経営者のキャリアと学習の実態を明らかにし、その研究成果を人材育成学会で報告しました。引き続き、この調査研究から見つかった

地域経営人材育成上の課題に対応するために、センターの新しい地域経営者教育事業として「地域経営者のための実践ケース学習プログラム」を構想し、実施に向けて準備を進めています。

公開講座「イノベーション・カレッジ」

「イノベーション・カレッジ」は、センターと（財）東北活性化研究センターが連携して実施する無料公開講座で、経済学研究科の教員が東北7県を対象にして中小企業経営および地域活性化に関する講義を提供する事業です。2008年度から2010年度までの3年間実施しました。



2010年度の各会場の様子



岩手会場



新潟会場



仙台会場

これまでの実績

2008年度

宮城県	2008.9.6 ~9.7	仙台国際センター	127名受講
青森県	2008.9.20 ~9.21	青森県観光物産館アスパム	72名受講
山形県	2008.9.27 ~9.28	山形ビッグウイング	79名受講

講義内容および講師

- 次世代経営人材の育成(藤本雅彦教授)
- 資源の発掘と経営戦略(福島 路准教授)
- リスク・マネジメント(伊東俊彦教授)
- インターネット上の口コミとマーケティング(澁谷 寛准教授)
- オンリーワン企業を創る(大滝精一教授)

2009年度

福島県	2009.9.5	コラッセふくしま	52名受講
宮城県	2009.9.12	仙台国際センター	134名受講
秋田県	2009.9.19	秋田県総合保健センター	35名受講

講義内容および講師

- 経営者のリーダーシップ開発(藤本雅彦教授)
- 視点転換と企業戦略(福島 路准教授)
- 卓越な収益性のビジネス・デザイン(権 奇哲教授)
- 企業ホームページの役割を再考する(澁谷 寛教授)
- 経営倫理と製造者責任(高浦康有准教授)
- ビジネスモデル(事業の仕組み)のイノベーション(大滝精一教授)

2010年度

岩手県	2010. 9. 4	いわて県民情報交流センター「アイーナ」	68名受講
新潟県	2010. 9.11	朱鷺メッセ	59名受講
宮城県	2010.10. 2	仙台国際センター	156名受講

講義内容および講師

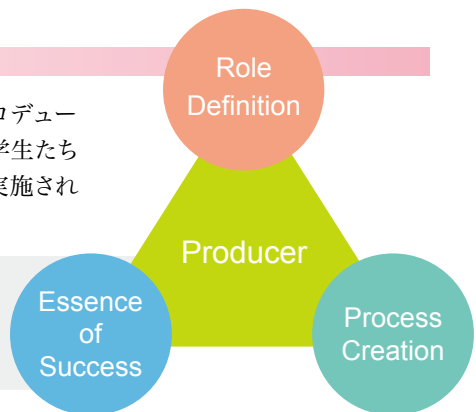
- ケースに学ぶ地域企業の「マーケティング戦略」(大滝精一教授)
- ケースに学ぶ地域企業の「資源戦略」(福島 路准教授)
- ケースに学ぶ地域企業の「人材育成」(藤本雅彦教授)
- ケースに学ぶ地域企業の「インターネット活用」(澁谷 寛教授)

プロデューサー塾

地域社会の各分野でイノベーション活動に取り組んでいる優れた地域プロデューサーの方を囲んで、問題意識、課題への取り組み、考え方や生き方について学生たちとざっくばらんに語り合う場です。経済学部学生たちの企画と運営によって実施されています。※2007年度までは「イブニング・トーク」として開催されました。

地域プロデューサー

地域の新しい共生関係を構想・提案し、その実現を自分の役割として定義し、目的達成のための成功の本質を把握し、強い意志をもってその目的を達成するまでのプロセスを創造していく者またはその役割



2010 年度の実績



第13回
仙台を愛して38年
地域メディアの過去・現在・未来
川本 茂氏
(株)プレスアート Kappo編集長



第14回
お直しコンシェルジュの挑戦
守井 嘉朗氏
(株)ビック・ママ 代表取締役



第15回
街を創ることの意義と意味を考える
白津 守康氏
(株)BBi 代表取締役社長



第16回
仙台ゴスペル・フェスティバル
～歌声とボランティアが街を元気にする～
永井 信義氏
仙台ゴスペル・フェスティバル実行委員長・牧師



第17回
アジアの時代とこれからの日本企業
大山 健太郎氏
アイリスオーヤマ(株)代表取締役社長



第18回
仙台市の過去や現在の観光経済と今後の方向性
嶺岸 裕氏
仙台市経済局国際経済・観光部 観光交流課長

連携講座「東北地域の中小企業経営と地域活性化」

2008年度と2009年度に、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北支部と連携して、学部学生と中小企業関係者などの一般市民を対象に公開講座を開催しました。東北地域の優良中小企業の経営者、東北経済産業局、自治体等の実務担当者が講師となって、現場感あふれる事例を紹介しながら、中小企業経営の特徴・課題・ダイナミズムについて講義しました。中小企業支援施策、産学官連携および地域活性化の現状と重要課題に対する関心と理解を高め、地域発展への貢献意欲をもつ人材の育成を図りました。本講座を「継続聴講」した一般市民の方には修了証を交付しました。



2009 年度の講義内容

- 東北経済の動向と中小企業の役割
- 中小企業経営の特徴と経営者の役割
- 独立・起業の実態
- ベンチャーキャピタルの仕組みと役割
- 一ノ蔵のマーケティング戦略
- 菓子製造小売業の経営
- メーカーベンダーの国際化戦略
- 運送業の現状と地域性を活かした経営戦略
- 自動車関連中小製造業の経営
- リサイクル古着小売業の経営
- 中小企業再生の実態
- 中小企業支援の実態
- 新たな農業経営のあり方と地域おこし
- マグロの町 大間の地域おこし

みやぎ県民大学開放講座

宮城県の委託事業として、地域中小企業のイノベーション能力の向上を図るための開放講座を開講し、多くの受講者から高い評価を受けました。

これまでの実績と予定

2006年度 実績

- 地域イノベーションの切り口 70名受講

2007年度 実績

- 地域企業の飛躍を考える40の質問 118名受講

2011年度 予定

- 大学院で教える「管理者の役割とリーダーシップ」 2011年9月開講予定

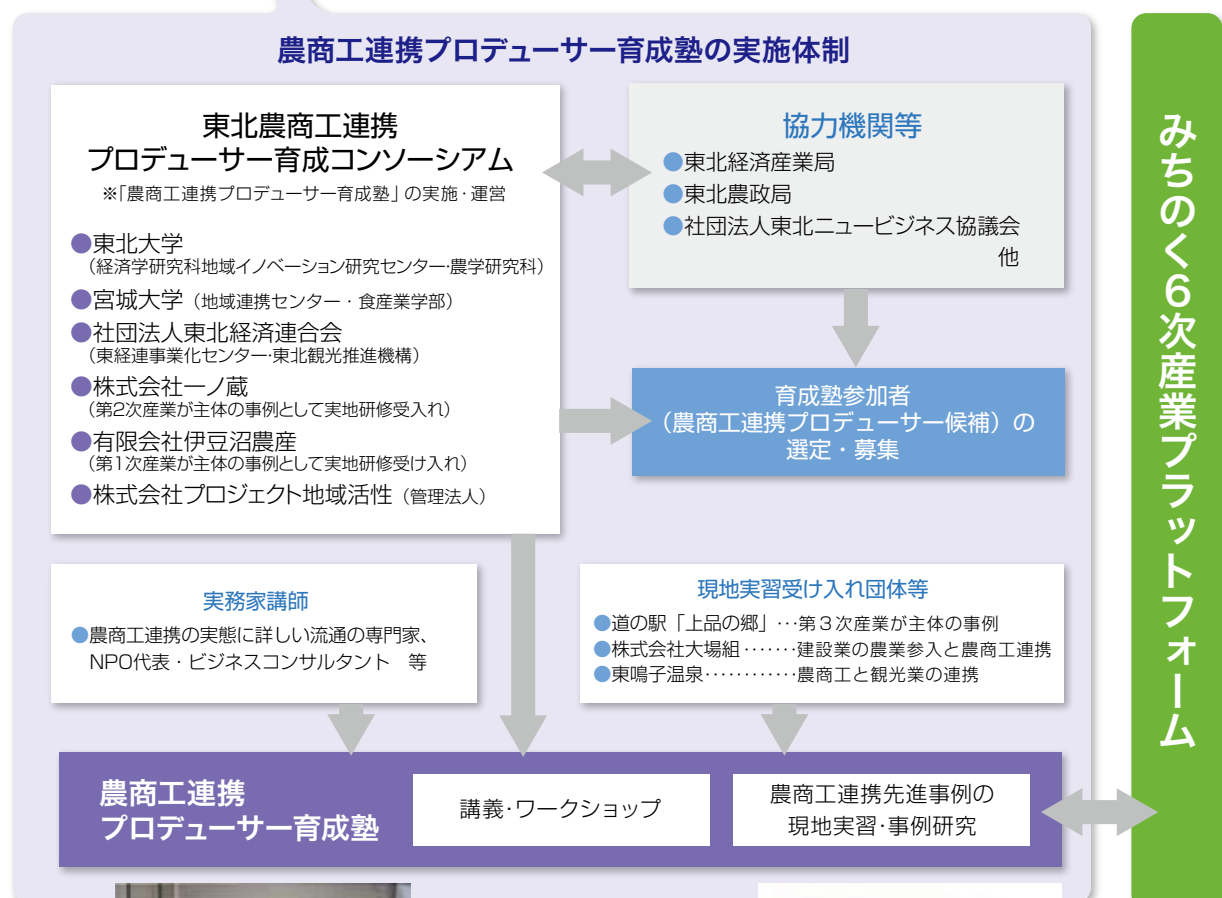
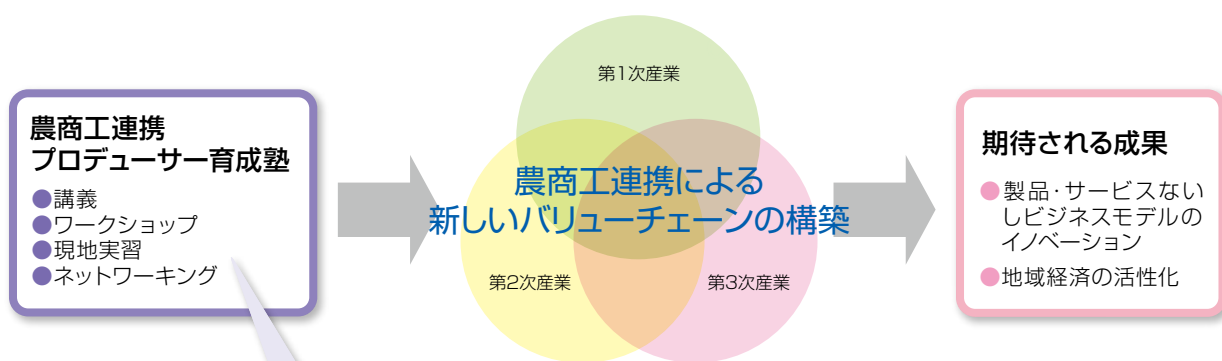


農商工連携プロデューサー育成事業

本事業は、農商工連携によって新しいビジネスモデルや商品・サービスの創出をリードする農商工連携プロデューサーの育成を目的とするものです。2008年10月に「東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアム」が設立され、農商工連携プロデューサーを育成するための教材開発、事例作成などを行いました。

2009年度・2010年度にはすぐれた農商工連携プロデューサーを育成するために「農商工連携プロデューサー育成塾」を開講し、それぞれ22名・18名の農商工連携プロデューサーを輩出しました。

2010年4月には、農商工連携による新事業立ち上げを支援するための仕組みである「みちのく6次産業プラットフォーム」が設立されました。



育成塾におけるワークショップの様子



育成塾における現地実習の様子

2010年度の農商工連携プロデューサー育成塾のカリキュラム

第1回	8月 7日～ 8日	講義・ワークショップ	講師:大滝精一/権 奇哲/板垣良直
第2回	8月 21日～ 22日	現地実習	実習受入先:株式会社大場組 ケースディスカッション担当講師:藤本雅彦
第3回	9月 4日～ 5日	講義・ワークショップ	講師:伊藤房雄/若生裕俊/三輪宏子/石井力重
第4回	9月 18日～ 19日	現地実習	実習受入先:有限会社伊豆沼農産 ケースディスカッション担当講師:権 奇哲
第5回	10月 2日～ 3日	講義・ワークショップ	講師:伊東俊彦/関田康慶/堀田宗徳
第6回	10月 16日～ 17日	現地実習	実習受入先:株式会社一ノ蔵 ケースディスカッション担当講師:伊東俊彦
第7回	11月 6日～ 7日	講義・ワークショップ	講師:柘植徳雄/三石誠司/福嶋 路
第8回	11月 20日～ 21日	現地実習	実習受入先:道の駅 上品の郷 ケースディスカッション担当講師:高浦康有
第9回	12月 4日～ 5日	講義・ワークショップ	講師:津志田藤二郎/伊藤知生/三輪宏子/石井力重
第10回	12月 18日～ 19日	現地実習	実習受入先:東鳴子温泉 ケースディスカッション担当講師:福嶋 路
第11回	1月 15日～ 16日	講義	講師:高浦康有/西出優子/藤本雅彦/澁谷 寛
第12回	1月 29日～ 30日	講義・ビジネスプラン プレゼンテーション	講師:板垣良直/老川信也

中国ビジネス研究会

当研究会は、2009年11月の東北経済連合会による中国華東地域への訪問調査（上海、無錫）をきっかけに、山形大学国際事業化研究センターの柴田孝教授と当研究科の大滝精一教授が中心となってよびかけたもので、当該ミッションに参加した20社を中心に、中国ビジネスの最前線を各社が勉強するとともに、特に現地企業とのアライアンスの仕方や課題を確認し、合わせて東北経済連合会の中国ビジネス支援のあり方や方向性を探ることを目的として設立されました。



これまでの実績

第1回研究会

日 時: 2010年3月30日(火)15:00～17:00
場 所: 東北大学文科系総合研究棟第21演習室
講 演 者: アイリスオーヤマ株式会社 常務取締役
大連アイリスグループ董事長
大山 繁生 氏
講演演題: アイリスオーヤマの中国ビジネス展開



アイリスオーヤマ株式会社 常務取締役
大連アイリスグループ董事長
大山 繁生 氏

第2回研究会

日 時: 2010年5月18日(火)15:00～17:00
場 所: 山形大学工学部秦逸三ホール
講 演 者: 社団法人遼寧省開発連合会
理事 総務局長 中村 俊輔 氏
理事長 濱田 雅行 氏
講演演題: 丹東市ものづくりプロジェクト



社団法人遼寧省開発連合会
理事 総務局長
中村 俊輔 氏 (左)

社団法人遼寧省開発連合会
理事長
濱田 雅行 氏 (右)

第3回研究会

日 時: 2010年8月2日(月)15:00～17:00
場 所: 東北大学文科系総合研究棟大会議室
講 演 者: 弘進ゴム株式会社
取締役社長 西井 英正 氏
講演演題: 弘進ゴムの中国ビジネス展開



弘進ゴム株式会社
取締役社長
西井 英正 氏

株式会社最上世紀
代表取締役 斎藤 明 氏

第4回研究会

日 時: 2010年10月13日(水)15:00～17:00
場 所: 山形大学工学部創立百周年記念会館1階セミナールーム
講 演 者: 株式会社最上世紀
代表取締役 斎藤 明 氏
講演演題: 創業に当たっての精神と行動



ホームページによる交流

<http://www.econ.tohoku.ac.jp/rirc/>

センターのホームページを通じて、センターの概要、事業内容などの情報を提供するとともに、センター活動に関するニュース、各種募集の案内などを行います。また、センターのパンフレットや各年度のセンター活動報告書などの資料をダウンロードすることができます。



学会発表・広報イベント等への出展

センターは本学および地域社会で開催される各種イベントに積極的に出展し、センターの目的と事業活動を広く知らせることによって、地域社会とのネットワーク形成と連携活動の拡大に努めています。

これまでの実績

「東北大学イノベーションフェア2010 in 仙台」への出展

2010年10月18日(月)に開催された本学のイノベーションフェアにおいて、「地域イノベーション研究センターのご紹介」というコーナーを設置し、センターが実施している「地域の人材育成」「地域に関する調査研究」「地域社会との交流・成果発信」について紹介しました。

オープン・キャンパスでの紹介

2010年7月28日(水)～29日(木)に開催された本学のオープンキャンパスにおいて、センターで実施している学部学生向けの事業活動、「プロデューサー塾」「インターンシッププログラム」等を高校生に紹介しました。

日本ベンチャー学会・清成忠男賞受賞

センター所属の福嶋 路准教授と権 奇哲教授が執筆した論文が、日本ベンチャー学会でベンチャー企業および企業家支援活動等に関する研究の奨励に資する優秀な論文および著者に対して贈られる最も栄えある賞「第5回(2010年)日本ベンチャー学会・清成忠男賞」を受賞しました。

各種セミナー・学会等での発表

2010年2月3日(水)～4日(木)に東京の日仏会館で開催された国際シンポジウム「地域イノベーション政策と中小企業」において、農商工連携プロデューサー育成事業や地域イノベーション能力を向上させるためのセンターの取り組みなどについて報告しました。



センター関連新聞・雑誌掲載記事(2010年度実績)

- 2010年4月2日(金) 河北新報
市政課題を分析 学生が政策提言 仙台で報告会
- 2010年4月4日(日) 毎日新聞
仙台市委嘱 東北大院生ら11人 政策研究の成果報告 市長「新鮮な提言ある」
- 2010年4月30日(金) 河北新報
みちのく6次産業プラットフォーム 農商工連携へ組織設立 東北大や経済界から参加
- 2010年5月25日(火) 日本経済新聞
東北大や東経連など 製造業の中国展開支援 産学連携 輸出・提携を促進
- 2010年8月11日(水) 河北新報
東北大リベラルアーツサロン
西出優子准教授「地域におけるNPOとソーシャルキャピタルの意義」 積極的な社会参加を促進 人のつながり 力に
- 2010年8月12日(木) 河北新報
東北大や東経連 「農商工連携土台築いて」人材育成塾が開講
- 2010年10月25日(木) 河北新報
社会起業家育てよう 仙台のNPOなど 支援組織を結成
- 2011年1月30日(日) 河北新報
地元の美味 掘り起こせ 仙台で地域活性勉強会
- 2011年2月5日(土) 河北新報
中堅育成 企業の5割苦心 東北大など7県調査 公開講座教養中心 実践的研修望む 仙台で10日シンポ
- 2011年2月15日(火) 河北新報
産学官連携続け 地域で人材育成 仙台・シンポ
- 2011年2月15日(火) 日本経済新聞
経営者や幹部育成研修 企業と支援機関関与 東北大など調査
- 2011年2月 広報(社団法人日本広報協会発行)No.705
「農商工連携プロデューサー」の育成を地域力向上の牽引力に 東北大学大学院経済学研究科「地域イノベーション研究センター」の取り組み

連携事業・委託事業・寄附金等の受入

センターは、地域イノベーション能力の向上というセンターの設立目的に合致するような連携事業、委託事業、寄附金等の受入に関する相談を受け付けます。相談をご希望の方は、センターまでお問い合わせください。

センター略史

年度 月

- 2005** 7 地域イノベーション研究センター設立(活動開始)/ベンチャー創業セミナーの開催
- 9 第1回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施/設立記念国際シンポジウム「東北アジアの産業クラスター」の開催
- 10 創業支援セミナー「岩本悠TALK LIVE ゲンキダマのつくり方」の開催
- 11-12 第1期起業家育成(インターンシップ)プログラムの実施
- 11 「東北経済産業情報 東北21」(東北経済産業局)第48巻8号への記事掲載/第1回イブニング・トークの開催
- 12 第2回イブニング・トークの開催
- 1 第3回イブニング・トークの開催
- 2 フォーラム「どうなる介護保険?」「どうする市町村・介護保険事業所の経営!」の開催
- 3 第2回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施/第1回フォーラム「若者に選ばれる地域企業の条件:地域企業の人材獲得と育成」の開催

- 2006** 4 プロジェクト型長期インターンシップの履修単位化、自主持ち込み型インターンシップの開始/ベンチャーEXPO 2006の開催
- 5 第4回イブニング・トークの開催
- 6 第5回・第6回イブニング・トークの開催
- 6-8 第2期プロジェクト型長期インターンシップ・プログラムの実施
- 7 第3回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施
- 9 平成18年度みやぎ県民大学開放講座の開催(講義4回)/中小企業政策(中小機構)寄附講座の受入(～2008.09)
- 10-12 第3期プロジェクト型長期インターンシップ・プログラムの実施
- 11 第2回フォーラム「中小企業のイノベーションを起こす情報化への新たな挑戦」の開催/第7回、第8回イブニング・トークの開催
- 1 第4回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施/新春(第9回)イブニング・トークの開催
- 2 「産学官連携ジャーナル」(JST)2007年2月号への記事掲載

- 2007** 5 第10回、第11回イブニング・トークの開催
- 6 第12回イブニング・トークの開催
- 7 第5回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施
- 8-10 第4期プロジェクト型長期インターンシップ・プログラムの実施
- 8 東北大学100周年記念まつりへの出展
- 9 平成19年度みやぎ県民大学開放講座の開催(講義4回)/第2回シンポジウム「東北地域の経済産業の問題点を探る」の開催
- 10 「東北大学イノベーションフェア2007 in仙台」への出展/第13回イブニング・トークの開催
- 11 第14回イブニング・トークの開催
- 12 第15回イブニング・トークの開催
- 1 第6回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施
- 2 地域イノベーション研究センター内規の制定
- 3 第3回シンポジウム「地域ブランドの作り方」の開催

- 2008** 5 第1回プロデューサー塾の開催/とうほく学生フォーラム2008 ～地域を変える若者の力～の開催
- 6 第2回プロデューサー塾の開催
- 7 第3回プロデューサー塾の開催/中小企業政策特別セミナー「大学発ベンチャー:韓・日比較研究」の開催/第7回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施
- 8-10 第5期プロジェクト型長期インターンシップ・プログラムの実施

- 9 公開講座「イノベーション・カレッジ2008」の開催(宮城県、山形県、青森県)
- 10 地域イノベーション・シンポジウム「ものづくりだけで生き残れるか?～製造業のサービス化」の開催/連携講座(公開講座)「東北地域の中小企業経営と地域活性化」の開講(～2009.01)/第4回プロデューサー塾の開催/特別セミナー「地域革新システム構築のための産学協力活性化方案」の開催/「東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアム」への参加
- 11 第5回プロデューサー塾の開催
- 1 第6回プロデューサー塾の開催/第8回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施/第1回「農商工連携をリードする経営人財育成セミナー」の開催
- 3 第2回「農商工連携をリードする経営人財育成セミナー」の開催

- 2009** 5 第1回インターンシップ事前研修の実施/第7回プロデューサー塾の開催
- 6 第8回プロデューサー塾の開催/農商工連携プロデューサー育成塾の開講/第2回インターンシップ事前研修の実施/2009年度 東北大学経済学会講演会の共催
- 7 第9回プロデューサー塾の開催/第9回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施/オープン・キャンパスにおけるパネル展示
- 8 第3回インターンシップ事前研修の実施/仙台市政政策研究員事業の開始(政策研究員委嘱式)
- 9 公開講座「イノベーション・カレッジ2009」の開催(宮城県、福島県、秋田県)
- 10 連携講座(公開講座)「東北地域の中小企業経営と地域活性化」の開講(～2010.01)/テクノフェアはなまき2009「農商工連携フォーラム」参加/第10回プロデューサー塾の開催
- 11 第11回プロデューサー塾の開催/農商工連携プロデューサー育成塾 第1期生修了式
- 1 第12回プロデューサー塾の開催/第10回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施
- 2 東北大学経済学部創設60周年記念シンポジウム「デザイン発想からの新しい経営」の開催
- 3 フォーラム「持続的な農商工連携のために」の開催/仙台市政政策研究員最終報告会(仙台市長への報告会)/第1回中国ビジネス研究会の開催

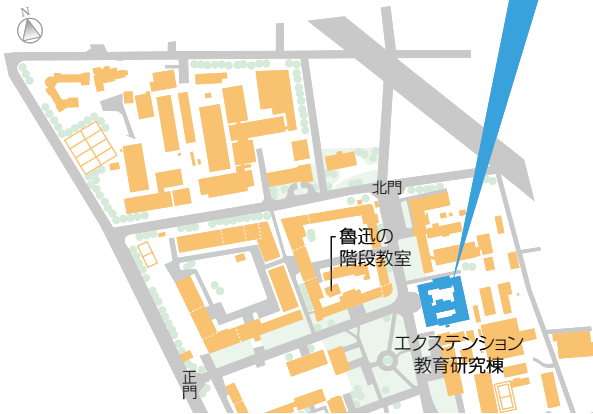
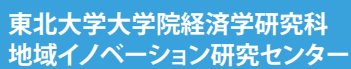
- 2010** 5 第2回中国ビジネス研究会の開催/第13回プロデューサー塾の開催
- 6 第14回プロデューサー塾の開催/第1回インターンシップ事前研修の実施
- 7 第2回、第3回インターンシップ事前研修の実施/第15回プロデューサー塾の開催/第11回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施/定禅寺ストリートジャズフェスティバル シンポジウム「市民がつくる音楽祭」の共催/オープンキャンパスにおける紹介
- 8 共同研究プロジェクトの実施(～2011.2)/第3回中国ビジネス研究会の開催/第2期農商工連携プロデューサー育成塾の開講/社会イノベーター公志園東北大会の共催
- 9 公開講座「イノベーション・カレッジ2010」の開催(岩手県、新潟県)
- 10 公開講座「イノベーション・カレッジ2010」の開催(宮城県)/第16回プロデューサー塾の開催/第4回中国ビジネス研究会の開催/「東北大学イノベーションフェア2010in仙台」への出展
- 11 第17回プロデューサー塾の開催
- 12 第12回宮城県中小企業家同友会景気の状態に関するアンケート調査の実施/日英研究連携プロジェクト2010「サードセクターと行政の協働」仙台講演会の共催
- 1 第18回プロデューサー塾の開催/農商工連携プロデューサー育成塾 第2期生修了式
- 2 2010年度地域イノベーション・シンポジウム「このままでいいのか?東北における人材育成」の開催

交通アクセス

▶ 周边图



▶片平キャンパス構内図



仙台市営バス

仙台駅前9番のりばより
宮教大・青葉台行／青葉通經由動物公園循環 乗車
青葉通一番町バス停下車（約5分、運賃100円）のち徒歩10分

山台駅前11番のりばより
 霊屋橋・動物公園經由緑ヶ丘三丁目行／霊屋橋・動物公園・日赤病院
 經由八木山南団地行 乗車
 東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

仙台駅前12番のりばより
 霊屋橋・動物公園・西の平経由 長町南駅・長町(営)行
 東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

連絡先

東北大学大学院経済学研究科
地域イノベーション研究センター

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1
エクステンション教育研究棟6階
電話. 022-217-6265 FAX. 022-217-6266
E-mail rirc@econ.tohoku.ac.jp
Homepage <http://www.econ.tohoku.ac.jp/rirc/>

**Regional Innovation Research Center
Graduate School of Economics and Management
Tohoku University**
katahira 2-1-1, Aoba-ku, Sendai



この印刷物は、
輸送マイレージ低減によるCO2削減や
地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した
新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、
印刷用紙へのリサイクルが可能です。